



◆ アレルギー支援ネットワーク 通信 ◆



NO. 84

2013. 12. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

みなさま、こんにちは。

1年がたつのは、本当にあっという間ですね。今年も支援ネットは多くの人とのご縁、ご支援をひしひし感じることでできた、充実した1年となりました。

12月は、行事が盛りだくさんで、つい暴飲、暴食にもなりがちですね。

しっかり健康管理をして、気持ちよく今年を締めくくりましょう。

今年1年、メルマガをご愛読いただきまして誠にありがとうございました。

==== も く じ =====

- 1、岩手県の医療について 佐々木 朋子
- 2、防災のはなし 第2回 「共助」 防災士 中根 輝彦
- 3、アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ、活動報告 第3回
- 4、岩手県一関市での講演会のご報告
- 5、「アレ大修了生☆リレートーク」 第11回 岡田 恵利
- 6、アレルギーっ子のおいしいレシピ 近藤 由美
- 7、法人会員からのメッセージ
 - ①『空気清浄機の選び方』
 - ②株式会社ウィルモア
- 8、【締切間近】「食物アレルギーによるひやりはっど事例の調査アンケート」ご協力をお願い
- 9、『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』プロジェクト～寄付キャンペーンご協力をお願い～
- 10、第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会プレ企画のご案内
 - 11、アレルギーっ子フェア開催決定のお知らせ
 - 12、第8期アレルギー大学 修了証のご案内
 - 13、アレルギー児親の会からのご案内
 - 14、12月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
 - 15、インターネット・アレルギー大学
 - 16、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ
 - 17、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内
 - 18、メールマガジン会員募集中！無料です。

19、募金にご協力ください

=====

1、岩手県の医療について

佐々木 朋子

今回のお題は、岩手県の医療についてですが

岩手県全体の医療についてはちょっとお話しするのは苦しいので小児科についてお話しします。

人口に対して小児科医数は全国最下位で、かつ県内でも医師の偏りがあります(どこでも同じですが、都市部に多く地方には少ない)。

具体的に診療範囲についてですが、地方の医師は車で1時間までぐらいの距離範囲の患者さんを主に診ています。

新生児室をもっていたりすると、緊急帝王切開と救急外来患者さんを同時に診なければならなくなったりして正直1人で見るのは危険であるため、小児科研修を終えた研修医や若手の医師、看護師の協力を得て何とかもっています。早く診てほしい患者さん・保護者の方の要望は重々理解していますが、人手不足のためトライアージして診察時間を待っていただくよう地域の方にご理解していただいています。

またこういう地域では、やはり予防医学がとても重要になり親御さんへの教育を徹底しています。

車で1時間の距離を親御さんは不安を抱えながらお子さんを連れてくるわけで、家でできる対症法についてなるべく指導しているつもりです。

岩手県のアレルギー診療については、まだまだ発展途上です。正直、食物アレルギーの正確な診断や指導はきちんと行われてはいません。そのため保護者の方も学校関係者の方も混乱して、ただ不安だけがあるように思えます。

食物アレルギーの患者さんの数は増加傾向にありニーズも高いため、私は愛知での研修後

早速経口負荷試験とプリックテストをまず導入してみました。診断・治療を行うにはアナフィラキシーの危険を伴うため、個々の要望に応じてやっています。保護者の方からは「少し安心した」、「少しでも食べられることが知れてよかった」等と感想をいただいております。

アレルギー支援ネットワークさんのご協力を得て、今後も岩手県の医療が良くなるよう私たち医師、管理栄養士さんも頑張っていきます。

2、防災のはなし

第2回

「共助」

防災士 中根 輝彦

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。前回より防災の話題をお届けしています。前は「自助・共助・公助」とは、「自助」でしかできないこと、「自助」として何をどこまでやるのか覚悟を決めていただきたいというお話をしました。

第2回となる今回は、「共助」についてのお話です。

「共助」として取り組む内容はきわめて広範囲になります。前回お話したように定義や区分が曖昧で、取り組み方法や主体が変わると範囲は広くも狭くもなります。どの立場で誰のために取り組んでいるのかを意識して活動することが重要です。

地域防災では一般的には、自治会・町内会や自主防災会、消防団や水防団・警防団などの地域団体が主体となって、対象となる地域や所属する住民がみんな活動することが多いですが、地域コミュニティが崩壊して活動主体となる組織がない場合は、NPO 法人やボランティア団体に頼っている地域もあります。

本来の地域防災としての共助を意識するなら、隣近所の勝手知ったる間柄で相互が支えあうのが理想的ですが、活動の基盤となるコミュニティづくりから始めなければならない地域もあります。少なくとも、いざというときに駆けつけてくれない外部団体に丸投げして、活動ができているつもりになり、実際は自分たちだけでは何もできない地域になってしまっているなどというのは避けたいところです。

食物アレルギーを抱える方やその家族が、災害への備えを考えると一番気になるのは、食事に関する取り組みでしょう。地域防災の取組みの中でも「共助」として、アレルギー対応の非常食を備蓄することや、炊き出しで配布される食事の内容など、いろいろお願いしたいことも出てくるでしょう。

でも、いきなりアレルギー対応のお願いをしてもうまくいかないことが多いです。まずは、前述の地域コミュニティをしっかりと活動ができる地域にすること。自分たちもその活動に加わって相互支援の雰囲気盛り上げる。その次が、アレルギー支援は当事者だけでなく周囲の人の支援が必要なことを理解してもらうこと。自分たちの支援をお願いするのはその後です。この順番を間違えると「自分勝手」「わがまま」といったレッテルを貼られてしまうかもしれません。

支援して欲しいのはアレルギーの方たちばかりではありません。「災害時要援護者」といわれる方々です。避難行動や避難所生活などを一人でするのが困難な方です。一般には、高齢者、乳幼児、妊婦、傷病者、障害者、外国人など日本語が理解できないため必要な情報が得られない人などが該当するといわれています。

このような方々の支援も必要となる場合、「できることから…」「できる範囲で…」「専門家がいないからわからない」などと後回しにされたり、できない理由を挙げて協力してもらえなかったりします。自分も支援してもらいつつ他の方の支援もする「win-win の関係」を作っていくことが、アレルギー

ギー支援に理解を示してもらおう近道かもしれません。

地域によっては、該当する人がいないから特別な対応をする必要はないと思われることもあるかもしれませんね。個人のプライバシーを知られたくないからと、食物アレルギーであることを周りの人たちに知らせないでいると、支援してもらうチャンスを失ってしまうかもしれません。勇気のことですが、理解してもらうためには、ある程度のプライバシーの開示もやむをえないところがあります。日頃の付き合いから、信頼できる協力者を増やす努力も必要になるかもしれません。

今回は、地域防災活動で、アレルギー支援の協力をお願いするためには、自分たちも積極的に活動に参加して相互支援を盛り上げ、他の要援護の方への支援もしつつ、信頼を勝ち取ることが大事なことをお話ししました。

次回は、より広くアレルギー支援の必要性を訴えるために、「公助」をどのように生かすかについてお話ししたいと思います。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。

@TeruhikoNakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただけると嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。

宛先: info@alle-net.com

3、アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ、活動報告 第3回

『あま市アレルギーの会』

仲 佳代

私と食物アレルギーとの関わりは、自分の妹の子どもが「卵」「乳」のアレルギーを発症したことが始まりでした。

私は栄養士ですが、アレルギーの知識は全くなく、妹とともにアレルギーについて、日々“食品

除去”について試行錯誤の毎日でした。

ひと昔の食物アレルギーの本では、「卵がダメなら、鶏肉もダメ。」「牛乳ダメなら、牛肉もダメ。」と、ダメダメばかりでした。その情報が正しいと思い実践し、食生活はかなり乏しくなりました。アレルギーミルクについてもどれを飲んでいいのかわからず、使用を断念しました。

幸い、3歳前には血液検査の値が下がり、「卵、牛乳を食べていいよ。」と言われましたが、今度はどのように食べ進めるべきなのかに悩みました。”食品解除”についての試行錯誤の毎日になりました。

そんな日々を振り返ると、食品の除去・解除について、気軽に相談でき、具体的なアドバイスが受けられる病院が必要だと思います。加えて、悩みを理解してもらえる相手や、病院や地域の情報、成長に合わせた学校などでの社会生活についての先輩ママの経験談など交流の場が必要だと思います。

4、岩手県一関市での講演会のご報告 常務理事 中西里映子

去る11月19日に岩手県一関市で開催されました研修会で、「ひやりはっと事例から学ぶアレルギー対応と体制づくり」をテーマに、講師をさせていただきました。

この研修会は、岩手県県南広域振興局(中部保健所・奥州保健所・一関保健所)が主催で、園や学校で児童生徒の健康管理、保健・栄養指導を担当される、専門職の皆さま約170人が参加され熱心に聴講されました。

また、岩手医科大学小児科学講座の佐々木美香先生が「こどもの命をみんなで守る～アナフィラキシーの症状と対応～」をテーマに、食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応を講演してくださいました。

岩手県では、アレルギーの専門医が少ないうえに盛岡市に集中しており、沿岸地域には、ほとんどいらっしゃいません。

今回の研修会は、私どもアレルギー支援ネットワークが、震災時にアレルギー患者家族の方を支援させていただいたことがきっかけで、講師のお話をいただきました。

私どものHPを見てのご相談が最近増えています。先日も、石巻市在住の患者家族の方より、地元には患者会をサポートする団体がないからと、私どもにご相談があったり、別に石巻のある団体より、平時からアレルギー患者の備えやネットワークを考えておきたいと、私どものHPをみてご相談の電話があったりしています。

遠く離れておりますので、私どもにできることは限られていますが、支援活動から得た教訓をお伝えしたり、正しい情報をお伝えしたり、ご相談にのったりすることで、お力になることができればと思っています。

私は保健・相談事業の仕事に関わっています。「卵が怖いので離乳食にあげていない」「子どもが食物アレルギーを持っているので何を食べさせていいのかわからない」という親御さんのアレルギーに関するご相談が増えてきました。今一度、食物アレルギーの知識を得たいと思いアレルギー一大学の門を叩きました。

講義の内容は、理論や実習において段階を経て学ぶことができ、講師の先生方は専門の方ばかりですのでこの講座を受講できることは大変お得だと思いました。

受講されている方々は食物アレルギーの子どもをもつ親、または調理師、保育士、学校教諭、学生、栄養士など多職種おられ、グループディスカッションや調理実習の時に各立場における現状を知ることができて、いい情報交換の場になりました。

また、今年度から開講された病院実習を受講しました。病院実習では食物経口負荷試験や経口免疫療法の様子、診察の様子をドクターの横で見学したり、患者さんの食事日誌からの聞き取り、食事指導を栄養士から学びました。

食事指導で難しかったのはどのような経緯で今の診療が行われているかをカルテから読み取り、患者さんから食事を聞き取ることと診断に基づいて自宅負荷摂取の進め方や食品の質や量を具体的に説明することです。今までの栄養指導とは違うのですべてが勉強になりました。

「3種類も除去していたのに1種類になった。子どもの食事量が少しずつ増えて美味しくなる」と涙ぐんで喜んでおられた母親の姿を目の当たりにしたときは経口負荷試験の必要性を改めて確信しました。

この経験を保健・相談事業に生かし、食物アレルギーを持つご家庭の QOL 向上の一助になればと思います。

この場をお借りしてあいち小児保健医療総合センターアレルギー科の伊藤先生をはじめドクター、栄養士の先生方にお礼申し上げます。お忙しい中ご指導いただきありがとうございました。

「ジンジャークッキー」

12月の一大イベントはやっぱり「クリスマス」ですよ。

そろそろツリーを出したり、家を飾ったりしているころでしょうか。

今年は、昔ながらのジンジャークッキーをお子さんと一緒に焼いて、飾りの一つに取り入れてみてはいかがでしょうか。

レシピはこちらから

7、法人会員からのメッセージ

①『空気清浄機の選び方』

先月の『加湿機の選び方』に続き、今回は『空気清浄機の選び方』について紹介します。

成人1人が1日に摂取する水や食物の重量がそれぞれ2kgに対し、空気は1日になんとその9倍の18Kgも摂取しています。食の安全や飲料水の質と同じように、むしろそれ以上に、常に呼吸して摂取している空気の質についても関心を高める必要があります。

近年の住宅は省エネ性向上を目的に気密・断熱性能が高くなっています。そのために室内に空気がこもりがちで、人間の生活によって発生する、ホコリ・けむり・におい・細菌・カビ・ダニ・結露・ジメジメ感などが室外に抜けにくくなっています。

もうひとつ、屋外の空気にも好ましくない物質が含まれています。特に最近、花粉・黄砂・排ガス、そして今春2～5月はPM2.5が大きな問題となりました。また今秋も早々に中国で大きな問題になり、日本でも西日本ばかりでなく東日本でも基準値を大きく超え、既に警報が出された日があります。

こうした背景を踏まえ、空気清浄機のニーズは年々高まっており、今年3月の内閣府調べでは普及率が43.5%となり、半数近くの世帯で保有していることとなります。

空気清浄機は、方式や大きさ等たくさんの種類が販売店店頭に並んでおり、「選び方がよく判らない」というお客様の声をよく頂戴しますし、先月は九州北部にある県の消費生活センターから依頼があり、『空気清浄機の選び方』講座を実施しました。

当日の講座資料をアレンジし、アレルギー支援ネットワークのメルマガでも紹介させていただきますので、空気清浄機ご購入・選定の際にぜひご活用ください。

■空気清浄機の選びかた

<資料の内容>

(1) 空気清浄機に関連する基礎知識

- ・人間の空気摂取量、室内や屋外の空気の汚れについて
- ・空気清浄機の普及率、トレンド、構造、取れる粒子の大きさなど

(2) 空気清浄機の選び方

①適用床面積を確認

- ・空気清浄機の適用床面積→数値が大きいほど性能が高い
- ・使う部屋の広さと適用床面積の考え方
- ・加湿も重視する場合、加湿での適用床面積も確認のこと

②フィルター寿命・お手入れ

■交換までの寿命年数

■お手入れ:各種フィルター等のお手入れ内容

- ・集じん:プレフィルターの粗ボコリを掃除機で除去
- ・脱臭:フィルターお手入れの有無
- ・加湿:フィルターやトレイのお手入れ必要(1ヶ月に1回)
(つけおき洗いの有無などメーカーによって違いあり)

③その他ポイント

- ・設置性(サイズ、壁からの距離)
- ・放出系イオンの有無
- ・センサーの種類、数
- ・キャスターの有無
- ・省エネ機能の有無
- ・ランプ表示 など

なおPanasonicのHPには、空気清浄機に関する最新情報を掲載しています。
こちらもぜひご覧ください。(西島秀俊さんのおどろきレポートも掲載していますよ!)

<http://panasonic.jp/airrich/>

②『株式会社ウィルモア』

はじめまして。食物アレルギーの方のためのサービスを提供させて頂いております、株式会社ウィルモアの石川と申します。

弊社では、バーコードにかざすだけで、気になるアレルギーを含む食品かどうかをチェックできる、スマートフォンアプリ「アレルギーチェッカー」を運営しております。

そして、10月より新たに、〇〇を含まない食品を探して購入までつながるサービス「クミタス」の提供を開始いたしました。

食物アレルギーのお子さんを持つママなど、食物アレルギーと向き合う方の、食品選びをもっと楽にできるようにし、遠くまで買いに行かなければならなかった食品をいつでも購入できる場として、また食べられる食品の新たな発見の場となれば、幸いです。

クミタスとは

クミタスでは、除去したい食品を指定し、探したい食品カテゴリーを選択、もしくはフリーワード検索をすることで、目的の食品を探すことができます。

オンラインショップ上では、商品情報を確認できない場合もありますが、クミタスでは購入前に商品情報を確認することができます。また、その商品を現在取り扱っている店舗を amazon、楽天、Yahoo!、セブンネットを横断して確認することができ、安い順に並び替えることも可能です。現在、約 20,000 点の商品に対応しておりますが、商品情報は毎日更新追加しており、随時増やしてまいります。

【クミタス】

<http://www.kumitasu.com>

▼サービスの特徴

【1】 計 25 品目での除去食検索が可能

表示義務があるアレルギー 7 品目に、表示が推奨されている 18 品目を合算した計 25 品目での含む食品、含まない食品の検索が可能です。

- ・表示義務 7 品目: 卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かに
- ・表示推奨: 18 品: あわび、いか、いくら、オレンジ、キウイフルーツ、牛肉、くるみ、さけ、さば、大豆、鶏肉、豚肉、まつたけ、もも、やまいも、りんご、ゼラチン、バナナ

今後現在の 25 品目以外にも、アレルギー設定を増やしていきます。

【2】 会員登録をすることで検索が便利に

会員登録をすることで、アレルギー、食事制限対象食品を毎回設定しなくても食品検索ができます。

【3】 レコメンデーション機能

自分のアレルギー、制限対象食品を含まないその他の商品がわかります

【4】 ブックマークした・購入ボタンをクリックした商品の取扱店舗がわかります

購入・ブックマーク履歴がわかるだけでなく、ショップ別に、今までに購入・ブックマークした商品のうちの商品がいま取り扱っているかがわかります。

【5】 アレルギーの情報以外の商品情報も提供

1. 商品情報として原材料、カロリー、栄養成分、原産地情報も掲載しています。
(公表されている情報に限ります)
2. 商品によっては成分の補足説明を表記しています。
(例: エリスリトール→エリスリトール(天然由来の糖)、グァーガム→グァー豆由来)

3. 2次原料、3次原料についても可能な範囲で説明文を補足しています。

(例:ゼラチンは豚由来です。)

▼サービス概要

サービス名:クミタス

価格:無料

提供開始:2013年9月26日(木)

ダウンロード:[http:// www.kumitasu.com](http://www.kumitasu.com)

<ご利用上の注意>

・アレルギーの情報に関しては、公表されているデータを基に作成しておりますが、データの正確性を保証するものではありません。

・アップデートは随時行っています。データの誤りや、リクエストがありましたら以下までお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ先>

株式会社ウィルモア 石川

TEL 03-6661-1273

E-mail: info@willmore.jp

【会社概要】

会社名:株式会社ウィルモア

所在地:東京都中央区日本橋横山町 3-4-904

代表者:代表取締役 石川 麻由

設立:2009年2月

事業内容:代替食検索・購入サービス「クミタス」の運営、スマートフォンアプリ「アレルギーチェッカー」の運営、ヘルスケアリサーチ業務

URL:<http://willmore.jp>

8、【締切間近】「食物アレルギーによるひやりはっと事例の調査アンケート」ご協力のお願い

アレルギー支援ネットワークでは、藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院小児科、宇理須厚雄先生らの2013年度消費者庁研究事業にご協力をするために「食物アレルギーによるひやりはっと事例の調査アンケート」(以下「アンケート」と略します)を実施しています。

「アンケート」の締切は12月15日（日）

その後、集計と分析を行い、事例集を発刊いたします。

【アンケートにご協力をお願いしたい方】

食物アレルギーの原因食品を食べたり、触ったり、吸入したりしたときなどに起きたトラブルについてお答えください。

- ① 患者ご自身、或いは、患者の保護者の方にご記入をお願いします。
- ② 園や学校などでトラブルがあった場合は、保育士・栄養士・調理員・教師が、その時の状況や対応についてご記入いただいても構いません。
- ③ お知り合いの方で、病院や外食産業など、保護者以外の方でもトラブルのご経験があれば、是非ご記入をお願いします。

【アンケートの実施方法】

アンケート用紙にて回答

- ① ご希望の方に用紙を送付いたします。
1事例につき1冊のアンケート用紙にご記入ください。複数の事例がある場合は、お手数ですが、コピーをしていただくか、事務局までご一報いただければ郵送をさせていただきます。
- ② お答えいただいたアンケート用紙は、同封いたしました料金受取人払いの返信用の封筒でご返送ください。職場等でアンケートが複数部ある場合は、とりまとめて返送いただきますようお願いいたします。

《お問合せ先》

認定 NPO 法人 アレルギー支援ネットワーク

e-mail: info@alle-net.com TEL : 052-485-5208

9、『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』
プロジェクト～寄付キャンペーンご協力のお願い～

Give One E - ファンドレイジング・チャレンジ

『東海地域にアレルギーを持つ親子を支えるサロン*を』プロジェクト

*サロンとは…交流会広場や患者会など

いつもアレルギー支援ネットワークの活動に対するご支援ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

11月27日(水)AM11時から一ヶ月間の限定で、オンライン寄付サイト「Give One」のご協力のもと、アレルギー疾患があっても安心して子育てをすることができる環境づくりのために寄付をしていただくという『支え合い300人キャンペーン』を行います。皆さまからのあたたかいご支援をよろしくお願い致します。

◆キャンペーン期間◆

2013年11月27日(水)AM11時～2013年12月27日(金)AM11時

◆目標金額◆

300,000円 ※1,000円から受け付けています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10343>

Give One 特設サイトに掲載しきれなかった、東海地域のサロンに参加する アレルギー疾患を持つ患者家族の声

* (N市内の会参加者)

同じアレルギーっ子のママとお話することで、励まされたり、共感できることも多く、精神的にも救われています。病院や医師からは得られない、毎日の食事や園・学校生活のような身近な悩みを解消したり、情報が得られるのも大きな魅力です。

* (O市内の会参加者)

8年前、市外から引っ越して来て友人もおらず、私のアレルギーに関する情報はかかりつけの小児科医の言葉だけでした。

アレルギーの定例会で、アレルギー専門医のいる病院を教えて頂いたり、食物アレルギーの経口負荷テストのことやアトピー性皮膚炎の治療法などもアドバイスして頂いて本当に助かりました。初めての子育てでしたし、乳児～離乳期の一番大変な時期を知識や精神面でも支えて頂いて感謝しています。

* (N市内の会参加者)

アレルギーの会に参加してみて感じたのは、困っていることを相談したときに、信頼できる正しい情報や的確なアドバイスがもらえるということです。支援ネットワークの方の豊富な情報、他のアレルギーのお母さん方の経験などにとても助けられています。

10、第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会プレ企画のご案内

2014年2月2日(日)に第31回日本小児難治ぜん息・アレルギー疾患学会プレ企画を行います。今回のプレ企画は、平成26年6月28～29日に名古屋国際会議場で行われる第31回日本小児難治喘息アレルギー疾患学会のプレ企画として行われるものです。

日本小児難治喘息アレルギー疾患学会という学会は、ぜん息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなどの増加するアレルギー疾患について、医師だけでなく看護師などのコメディカルスタッフにも広く門戸を開き、ともに勉強しようという学会です。平成21年には「小児アレルギーエドゥケーター」制度ができて以降、アレルギー疾患についての詳しい知識を有し、医師と一緒に患者さんへの教育・指導することのできる力を持った、看護師を中心とした小児アレルギーエドゥケーターが次々に誕生して活躍しています。

今回は「子どものアレルギー攻略法」と題し、ミニレクチャーや体験コーナーを通じて、小児アレルギーエドゥケーター・栄養士・アレルギー専門医と一緒にアレルギー疾患について学ぼうという企画となっています。家族のみなさん全員で参加することができますので、ぜひご参加ください。

お申し込み締め切りは、12月末日までです。ご希望の方はお早めにお申込みください。詳細・お申し込み方法はチラシをご覧ください。

11、アレルギーっ子フェア開催決定のお知らせ

来る2014年3月8日(土)9日(日)に毎年恒例となりました、アレルギーっ子のフェア開催が決定しました。

会場：名古屋国際会議場

時間：3月8日(土)10:00～17:00 3月9日(日)10:00～16:00

初日に第8期アレルギー大学 上級修了証授与式を行い、記念講演にはあいち小児保健医療総合センターの伊藤浩明先生に「名古屋市の食物アレルギー対応」をテーマにご講演いただきます。また、午後からは、藤田保健衛生大学病院の松永佳世子先生に「アトピー性皮膚炎の治療における最新情報」についてご講演していただく予定となっております。

また、2日目には、名古屋学芸大学大学院生であり、あいち小児保健医療総合センターで食事指導をされている管理栄養士の榎村春江さんに「おいしく、楽しく、安全に食べるアレルギー食」をテーマに講演をしていただく予定となっております。

その他にも、豪華景品(加湿空気清浄機や除湿乾燥機他)の当たるスタンプラリー抽選会や、アレルギー対応のレシピ紹介、栄養相談コーナーなど、みなさんで楽しんで頂けるよ

うな企画を予定しておりますのでぜひ、ご家族・ご友人等お誘い合わせのうえご参加下さい。

フェアの詳細は随時発表してまいりますので、どうぞご期待下さい。

12、第8期アレルギー大学 修了証のご案内

6月より開講し5カ月に渡って各地で開催してまいりました第8期アレルギー大学も11月を持ちまして無事終了いたしました。

上級まで修了した皆様には、修了証を発行致します。

修了証は、2014年3月8日・9日のアレルギーっ子フェアの中で行われる修了証授与式でお渡し致します。

詳細につきましては、対象者の方へ1月頃ご案内いたします。

上級まで修了された方で2月初旬頃までにご案内が届かない方はアレルギー支援ネットまでご連絡ください。

また、基礎初級・中級まで終了された方で修了証を希望される方は、1000円で発行いたします。ご希望の方はアレルギー支援ネットワークまでご連絡ください。allergy-daigaku@alle-net.com

千葉会場にて受講された方は上記ご案内とは別途開催予定です。お間違えないようご注意ください。

13、アレルギー児親の会からのご案内

『西尾アレルギーの会』

12月7日(土)の交流会は、りょうこどもアレルギークリニックの看護師で、アレルギーエドゥケーターの認定資格をお持ちの松田のりこさんをお招きしてアレルギーの勉強会を行います。

今回は特に食物アレルギーについてお話していただきます。日常生活でお困りのこと、注意点などについて一緒に学びませんか。

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお申し込みくださいませ。

定員がございますので、必ずお問い合わせください。

『鉄板ダイニングdeランチ&親子交流会』

一日遅れのクリスマス会ですが、

子供はワイワイ、ママは三河湾を一望しながらホットー息のおしゃべり
また、海を見ながらゆっくり温泉にも・・・
そんな時間を過ごしませんか。

◆日時：12月26日(木)11:30～15:30(JR蒲郡ー銀波荘送迎あり)受付11:00～
JR蒲郡駅 11時集合し送迎バスにて銀波荘へ(JR名古屋駅から蒲郡駅まで快速にて40分)

◆場所：蒲郡 西浦温泉 銀波荘 旬景ダイニング碧ーAOーにて貸切 <http://www.gimpa.co.jp/>

◆内容

★お食事内容=7大アレルギー(卵、乳、小麦、落花生、そば、エビ、カニ)+ゴマ+大豆の除去を
基本としますが

但し醤油=小麦、ごま=ごま油、ケーキ=豆乳の利用となります(個別にご相談は応じます)

▼メニュー= 鉄板ダイニングを利用したのバイキング形式

▼レストランの調理環境

専用食器、調理器具、別室での対応はしていません。

肉・魚に関しては鉄板ダイニングということで、通常卵、乳製品を利用している鉄板を利用し、皆様の目の前で調理して頂きます。(当日は洗浄をしっかりと頂きます)

◆料金=お食事代+プレゼント代金+イベント代金等

大人:4500円前後

子ども(3歳以上):3500円 プレゼント代を含む(3歳未満でプレゼントご希望の方は500円)

★海を眺めながらの入浴も可能(追加料金 利用者一人につき500円:フェイスタオル付き)

◆募集人数:40名(家族20組程度)

◆ご希望の方は、以下ご記入のうえ syokuare@gmail.com までご連絡下さい。

締め切り:12月16日(月)

- 1、参加者氏名 大人、お子様年齢、其々の参加人数
- 2、除去しているアレルギー
- 3、住所、連絡先電話番号、連絡先メールアドレス

皆さまのご参加お待ちしております。

(今回利用するレストランはアレルギーの有無に関わらず通常、小学生以下はお断りされていますが、今回は貸切のため利用させていただきます。)

◆主催＝蒲郡市観光協会

◆お問い合わせ先＝メールアドレス：syokuare@gmail.com 寺倉里架まで

14、12月度「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど私たちと一緒に話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合せも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

参加希望の方はご連絡を下さい。お待ちしております。

【12月の日程】

1日(日) 刈谷アレルギー児の親の会	刈谷市民ボランティア活動センター
5日(木) 守山アレルギーの会 名東アレルギーの会 岐阜市・アレルギーっ子の会「さくらんぼ」	守山区社会福祉協議会 3階研修室 名東区在宅 サービスセンター・研修室2 かとうマタニティクリニック・キッズルーム
6日(金) 岡崎アレルギーの会 あま市アレルギーの会	東部地域交流センター「むらさきかん」 美和公民館
7日(土) 西尾アレルギーの会 アレッ子元気	西尾市総合福祉センター4階 洗心庵
10日(火) 春日井アレルギーの会	レディヤン春日井(変更することがございます)
12日(木) 天白アレルギーの会 名古屋南部アレルギーの会 豊川アレルギーっ子の会	天白区住宅サービスセンター・ボランティア室 場所は未定 ウイズ豊川(豊川社会福祉会館・2階和室)
13日(金) アレルギー児の親の交流会	アレルギー支援ネットワーク事務所(予定)
18日(水) 緑アレルギーの会	片平ふれあいセンター和室
19日(木) 豊橋アレルギーっ子の会 蒲郡アレルギーっ子の会	豊障会館「さくらピア」児童保育室 蒲郡勤労福祉会館

【お休み】 ぶちヴェール(日進・長久手アレルギーの会)

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は電話 052-485-5208 URL<http://www.alle-net.com/>

<mhtml:%7B391507A9-FDA5-4B61-A241-76B1EBC37C8A%7Dmid://00000148/%21x-usc:<http://www.alle-net.com/>>

皆さまのご参加をお待ちしております。

15、インターネット・アレルギー大学

『インターネット・アレルギー大学』は会場での『アレルギー大学』を受講したいけど、「日程が合わない」「会場までが遠い」「託児がないと無理」という声にお答えして、インターネットを介して「愛知会場」での講座を配信し、ご自宅でお好きなときに受講していただけます。

* 全国トップレベルの充実した講師陣

医学・食品学・栄養・調理学・保育・発達心理学などの専門分野で活躍中の全国トップレベルの講師陣が熱心に講義をお伝えします。

* 食物アレルギーのエキスパートの「登竜門」

初心からベテラン、調理現場から管理・指導などの方にも対応した講座は満足感たっぷりです。

* 即戦力となる実践的・体系的なカリキュラム講座

段階的に食物アレルギーが分かる体系的なカリキュラム。受講後、即戦力の期待に応える専門職のために開かれた全国唯一の講座です。

現在、各地方から、多くの方にお申し込みいただいております。中には、『アレルギー大学』の受講を修了し、復習のためにお申し込みいただいた方もいらっしゃいます。

受講されている方は、栄養士、保育士、食品会社にお勤めの方、アレルギーをお持ちのご家族の方など、幅広い方に受講していただいております。

自分のペースで、無理なく学ぶことができます。

食物アレルギーのことを詳しく学びたい、ご興味のある方はこちらをご覧ください。

<http://www.alle-net.com/i-alledai/i-alledai01-01/>

16、「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ

【防災セットとは】

アレルギー支援ネットワークの、防災救援システムの一つです。

緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンドにより、アレルギー疾患を持つ患者家族の皆様が、アレルギー支援ネットワークと連絡を取り合える事を目的とし、災害時・緊急時に患者の情報をスムーズに伝えるために役立つ緊急時(災害時)おねがいカードをセットにしました。

【セット内容について】

防災セットは、緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンド1本・緊急時(災害時)おねがいカード3枚がセットになります。

【緊急時安否確認システム】

地震など大きな災害が発生した場合は、被災地域の登録者に対してアレルギー支援ネットワークより安否確認メールを送信します。

メールに返信していただくことで安否の確認をいたします。その際必要な情報がある場合希望内容をご連絡ください。

被災した現地の支援情報等得ることができている範囲での最新情報をお伝えいたします。

【データ登録シリコンバンド】

シリコンバンドには安否確認システムにリンクする登録番号が印字されており、バンドを身につけていることで、緊急事態でも事前に登録された患者情報から迅速に救援の手配をすることができます。

【緊急時(災害時)おねがいカード】

災害時に保護者と離れ離れになっても、周囲の人にアレルギー症状や除去食品、連絡先や主治医等の情報を正確に知らせるための携帯用カードです。

非常時にはもちろんのこと、平常時にも周囲に正確な情報を提供するために役立ちます。

【防災セットお申し込みについて】

対象者:食物アレルギー、ぜん息、アトピー性皮膚炎などの患者本人または保護者の方

料金:アレルギー患者1人につき1セット無料(登録料・管理サービス料・送料などすべて不要です。)

注意・・・公益事業として助成金で作成費などを補っているため、無償サービスは先着1万名様となります。有償になる場合は事前にHPでご案内いたします。

予備・追加について:予備の購入、紛失等による追加は、シリコンバンド1個250円、緊急時おね

がいカードは 1 枚 25 円となります。
(送料・振込手数料は自己負担となります)

【申し込みの流れ】

- ① 安否確認システムへの登録 (アドレス表示)から登録してください。
[登録方法](http://alle-res.com/Contents/Menu.php)をご覧ください、<http://alle-res.com/Contents/Menu.php> よりご登録下さい。
(既にシリコンバンドをお持ちの方もまずは安否確認システムへご登録ください)
登録に使用するメールアドレスは、「@」より前に「.」の使われているものはご利用
になれません。登録メールアドレスを設定する際に、メールフィルターをご使用の場合には、
メールフィルターの設定を解除してください。
↓
- ②アレルギー支援ネットワークに登録情報が届く。
↓
- ③登録番号の決定(番号の指定はできませんので予めご了承ください)
↓
- ④登録番号の入ったシリコンバンド(1本)と緊急時おねがいカード(3枚)が届く。
(登録から発送まで、1～2週間ほどかかります。)

【登録後】

災害時・緊急時にこのシステムを少しでもスムーズにご利用頂けるよう、日頃から3～4ヶ月に 1
度程度メール配信をいたします。

メールアドレス変更・登録内容の変更等は、防災ネットワーク・お問合せフォームよりご連絡くだ
さい。

現在、様々な状況に応じできる限りの情報提供ができるよう平時より体制を整える準備を進めて
います。

17、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

皆さまは、既にお持ちですか。

アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる「食物アレルギーの基礎と対応」。
本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍
されていた先生等専門の方々に執筆・編集協力をしていただいております、充実した内容にな
っています。

アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆様はもちろん、アレルギーについて勉強がしたい、興味があるという皆様にもぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

18、メールマガジン会員募集中！無料です。

アレルギー最新情報や地域の会の情報など、「アレルギー」に関する情報満載の「アレルギー支援ネットワーク・メールマガジン」。ただいま購読会員募集中。購読は無料です。みなさんの周りの方にも、ぜひご登録をおすすめください。また「こんなことを取り上げてほしい」「知りたい情報がある」などメールマガジンで取り上げる記事についてのご要望もお待ちしております。

あなたの声で、アレルギー対策が一步前進するかもしれません！info@alle-net.comまでお気軽にどうぞ。

19、募金にご協力ください

※認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※

「GiveOne 寄付サイト」

『アレルギーっ子の防災・救援ネットワークシステム』

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

大規模災害に備えた、アレルギーを持つ人のための防災・救援ネットワークシステムの運営にご協力を！

『東日本大震災 食物アレルギーの子どもたちにご支援を！』

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10191>

子どもたちアレルギー対応の食料を届けたい！

『東日本大震災 ぜん息などアレルギーの子どもたちにご支援を』

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10264>

「ぜん息やアトピーがひどくなって困っています！」喘息吸入器や防ダニシートなどのアレルギー支援をします。

(※GiveOne の寄付サイトでは引き続き掲載をさせていただいております。)

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10290>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html> を通じて寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは asn-mailmagazine@alle-net.com (メルマガ編集部) までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について
無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部 asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆ ★☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでも OK です。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

-----★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6 (3月5日に事務所はこの住所に移転致しました)

▽TEL : 052-485-5208

▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----